
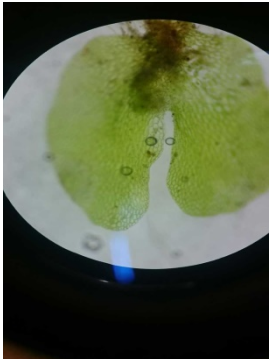


「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 29 年 6 月 8 日	
所属部局・職	霊長類研究所・博士課程学生
氏名	横山 拓真

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)	
日本、鹿児島、屋久島	
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)	
フィールド科学実習 (屋久島実習)	
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)	
平成 29 年 5 月 19 日 ~ 平成 29 年 5 月 25 日 (7 日間)	
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)	
京都大学 屋久島観察ステーション	
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)	
写真 (必ず 1 枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの) の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。	
<p>目的</p> <p>本実習は Monkey team, Plant team の二班に分かれて行われた。私が所属した Plant team は、屋久島に生息するシダ植物、孢子体と配偶体を地域別に採集し、孢子体は形態から、また配偶体は DNA 分析から種分類を行い、屋久島に生息するシダ植物の分布構造を分析することが目的であった。</p> <p>同行者</p> <p>工藤 洋 教授 (京大大学生態学研究センター)、 篠原 渉 准教授(香川大学)</p> <p>日程</p> <p>5/19 屋久島に到着 5/20 調査 尾之間にて、孢子体と配偶体の採集 5/21 調査 淀川にて、孢子体と配偶体の採取 5/22 調査 女川にて、孢子体と配偶体の採取 5/23 発表準備 5/24 発表会 5/25 解散</p> <p>フィールドワークでは多くの孢子体と配偶体のサンプルが集まり、孢子体については図鑑を用いて種判別を行った。結果、35 種のシダ植物を同定した。また、配偶体に関しては、DNA 分析により種判別を行っているが(2018 年 6 月 8 日時点)、こちらの実習には私用により参加できていない。</p> <p>私はこれまで植物について研究した経験がなかったため、本実習での活動はすべてが真新しく刺激的であった。私の研究では類人猿やヒトを対象としたものが多いが、植物の中でも、繁殖戦略や環境に応じた生態的变化などがあり、大変興味深かった。他分野への関心を高めることができる良い機会であった。自身の研究でも他分野まで視野を広げることによって、新しい発見ができるだろう。</p>	
	
写真 1: 孢子体	写真 2: 配偶体

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)



写真 3: 虫を食べるヤクザル



写真 4: ヤクシカ

6. その他 (特記事項など)

本実習は PWS の支援のもとに行われた。また、Plant team の工藤先生、篠原先生には調査地の案内や実習の指導、発表の取りまとめをしていただき感謝致します。その他、実習を行うにあたってサポートしていただいた、講師、院生の皆様、並びに屋久島の住民の皆様に感謝致します。